

初 企 号
平成20年10月 6日

国土交通省道路局長 様

初山別村長 宮 本 憲 幸



今後の道路行政についての意見・提案の提出について

平成20年9月19日付け国道企第37号をもって依頼ありましたこのことについて、別添のとおり提出しますので、よろしくお願いいたします。

要望

- 過疎地域における高速交通のネットワークの整備

過疎医療地域においては、高度な医療を必要とする場合、時間を費やして都市部の医療機関へ行かなければならないため、高速交通ネットワークの整備が必要。

- 道路ネットワークの整備

災害時における緊急輸送道路として、通年活用できる道路ネットワークの整備が必要。

- 交通事故多発地帯、危険地帯の分析等

交通事故抑止のため、多発地帯や危険地帯の分析及び対策が必要。

今後の道路行政についての意見・提案

②ー1 地域の現状と抱える課題

様式 ②

北海道苫前郡初山別村

○現状	○課題
・高度医療を受ける場合、都市部までの移動に時間を費やされる。 ・通年、隣接町と通行できる路線は国道232号線だけであり、地域住民の生活・地域産業を支える重要な道路となっており、災害時や冬の間の吹雪等により交通止めとなった場合、孤立する可能性がある。 ・急カーブ・急勾配の場所や越波、吹雪による交通障害となりえる場所がある。	・高規格道路深川・留萌自動車道の早期完成 ・留萌管内における片側2車線地区の増加 ・災害等による交通麻痺対策(迂回路確保) ・老朽化による橋梁の架け替え及び道路改修 築別橋(羽幌町) 豊漁橋(河川改修のため) 歌越別橋(狭橋のため大型車両相互通行不可) ・交通危険地帯の分析及び対策 金駒内地区の越波や急カーブ・急勾配

留萌中部と上川北部と連絡できる道路の開設により、新たな広域行政が図られる。

高規格幹線道路深川・留萌自動車道の完成や片道2車線道路の増加により、都市部への移動時間が短縮でき、物流等が活発になる。

今後の道路行政についての意見・提案

③道路施策の重点事項(代表事例、期待する効果や評価等)

様式 ④

北海道苫前郡初山別村

○重点事項	○代表事例	○期待する効果や評価等	○その他
地域の活性化	高規格幹線道路の整備促進	物流・医療の高速・安定化	
安定走行	危険地帯の道路整備、除排雪の方法の変更	交通障害の解消 相互通行できない橋梁の架け替えによる交通事故防止 除排雪の方法を改めることにより吹雪による視界不良の解消	